

令和3年度国立大学法人東京海洋大学臨時経営協議会議事要録

日 時 令和3年7月6日（火）～7月9日（金）

場 所 書面審議（メール）

参加者 井関学長、五十嵐委員、井手委員、井上委員、荻上委員、武藤委員、森委員、
山本委員、舞田理事、庄司理事、堀内理事（兼事務局長）、工藤理事、渡辺理事
オブザーバー 青山監事、久保田監事

議 事

【審議事項】

・第4期中期目標・中期計画（素案）について

資料1に基づき、第4期中期目標・中期計画（素案）について書面審議を行い、審議の結果、原案のとおり承認し、今後の軽微な修正及び文部科学省との調整については学長に一任することとした。

なお、委員から寄せられた意見（中期目標・中期計画の実際的な取組にあたって留意すべき点）は次のとおり。

- ・中期計画[2-4](2)（アントレプレナー育成プログラム）については、実業の経験者や、見識のある方を登用するなどの工夫が必要である。特にプログラムの立ち上げ時には意識願いたい。
- ・中期計画[6-1](1)（学生の海外派遣）については、大学として可能な限りの支援が必要である。
- ・中期計画[6-2](3)（外部英語資格試験の活用）については、TOEIC L&Rの一定以上の点数に加えて、海外留学に必要なより高い語学力を身に付けるための支援について工夫願いたい。
- ・「海洋産業AIプロフェッショナル育成プログラム」が中期計画に盛り込まれた意義は大きい。今後、学部・大学院一体となって本計画が着実に実現されることを期待する。

また、監事から、中期計画[10-2](2)（監事の機能強化）の評価指標について質問があった。（その後、学長の判断による軽微な修正として、評価指標の水準の記載に一部追記を行った。）

以上

配付資料

資料1 国立大学法人東京海洋大学第4期中期目標・中期計画（素案）